

提出年月日 5. 5. 25

受理年月日 5. 5. 25

請 願 第 1

紹 介 議 員 鈴 木 行 雄

高 野 要

鈴 木 康 仁

「石岡市のおまつり・本道回帰」に関する請願
(産業建設委員会所管にかかる部分)

請願趣旨

石岡のおまつりは、これまで「石岡のおまつり振興協議会」が取りまとめを行い、今日のような50万人以上の人々を引き付ける魅力ある形になってまいりました。また、おまつりに伴う補助金も市から交付され、円滑な運営を行ってまいりました。

私ども一同は、従前どおり「石岡のおまつり振興協議会」による、更なる魅力あるおまつりの発展を望み、併せて、文化財への高みを目指す新たな政策を打ち出されるよう、ここに請願いたします。

請願詳細

別添の「石岡市のおまつり・本道回帰への提言」のとおり

添付書類

提言への賛同書

石岡市のおまつり・本道回帰への提言

石岡のおまつりは、全町内、市全体に係る祭りであって、決して氏子会が仕切るかつての神社、15町内、年番町だけの祭りではなくなっているのは周知の事実です。

また、石岡のおまつりは、獅子舞パレードや山車パレードといった様に、多くの観光客に見せるお祭りとなり、本市の最大のイベントとなっています。

そして、石岡のおまつり振興協議会は、平成16年に設立されて以来、今日の様な形になるまで最大限の努力を重ねて、3日間で50万人以上の人々を引き付ける魅力にできたと、自他共に認められている石岡市の祭礼にたずさわる組織であります。

こういった体制が確立されていることが、石岡市にとっても政教分離の点でも問題なく祭礼にかかわる事が出来る大きな要因となっています。

そこで提言としまして、

- (1) これまでどおり「石岡のおまつり（祭事）」は、石岡のおまつり振興協議会が取りまとめ役となり、従前どおりの補助金を受け取る事とする。
- (2) (文教厚生委員会所管にかかる部分のため略)

との二項目を主軸とした、石岡市及び市長の新たな政策として打ち出すべきであろうと思われます。

この新たな政策を市長は、祭礼行事保存会及び石岡のおまつり振興協議会に進言し、理解を得て、両者が祭事、神事担当としての役割を明確にしながらも一方では力を合わせ、石岡のおまつりを更に素晴らしいものにしていく事が、今、求められている事です。

是非市長には、この方向での政策を明確に打ち出し、動いて頂く事をここに要望、提言致します。

【委員長報告要旨】

委員からは、「補助金の執行状況はどのようになっているのか」との質問や、「振興協議会さんの長年の恩恵をきちっと立てた上で、新しい形に踏み切るほうがいいと考えるため賛成」との意見や、「補助金が支払われているのであればこの請願は不採択でもいいのではないか」といった意見が出されました。

【結果】不採択